

令和8年度さいたま市地域公共交通協議会 第1回バス専門部会

自動運転バス実証実験の実施について

Autonomous
driving
project

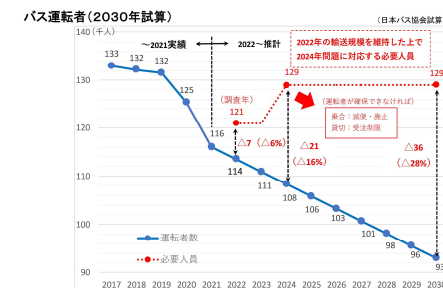
01 自動運転移動サービスの導入の背景・目的

- 既存路線の自動運転L4を推進することで、サービス水準を維持・向上させ、「持続可能な地域公共交通ネットワークの構築」を目指す。

■ 事業実施の背景・目的・目標

背景

- 年齢別の交通手段分担率では他の年齢層に比べて75歳以上のバス利用の割合は高い。
- 市内の高齢化率は2045年には30%を超える見込みとなっており、公共交通サービスの重要性が今後更に高まる。
- 運転手不足等の影響で一部路線の廃止や減便も行われており、高齢化する運転手への対策が急務。



目的

- 市内でも交通需要が高く、自動運転サービスの導入効果が大きい幹線において、大型バスの自動運転L4を実装することでサービス水準の維持・向上を図る。



目標

- 令和12(2030)年度を目標に、国道463号(埼大通り)の一部路線における自動運転L4の本格実装を目指す。
- その後、市内全域での完全自動運転化の実現により、持続可能な地域公共交通ネットワークの構築を目指す。



02 令和8年度実証実験概要(案)

- 早朝、土日を含めた時間帯における自動運転走行の課題の把握(技術検証中心)を目的とする。
- 運行区間は既存バス路線の存在する北浦和駅西口～埼玉大学間を設定。
- 使用車両は昨年度と同様、いすゞ社製のエルガ(ディーゼル)を使用。

■ 目的

- ・平日日中と異なる交通状況(早朝、土日等)における自動運転走行の課題把握し、インフラ整備等の今後の対応の方向性を整理する。
- ・交通事業者の自動運転導入に向けた経営判断の支援(機会・判断材料の提供)

■ 日程

- ・12月頃実施予定(調律:2日間程度 OJT:4日間程度 一般運行:6日間程度)

■ 運行区間

- ・運行区間:北浦和駅西口～埼玉大学間(埼大通り):約4km

■ 車両

▼使用車両外観



▼保有機能

項目			内容	
車両 スペック	車両名		いすゞ自動車株式会社製 ERGA(エルガ)	
	自動運転時の定員		最大29名	
	最高速度		車両性能:80km/h 自動運転時:40km/h(一部区間のみ50km/h)	
	センシング		LiDAR:8個 ミリ波レーダー:2個 カメラ:7個	
	その他装備		GNSS(全球測位衛星システム)、IMU(慣性計測装置)	
保有 機能	天候		晴れ、曇り、雨量3mm以下	
	照度		1~10,000lux	
	自車操作	車線変更	可	原則、地図上での車線変更設定区間上の自動車線変更が可能 (一部の困難な走行環境を除く)
		障害物回避	一部可	一部の条件下で回避可能
	白線認識		可	
	標識認識		不可	地図情報より取得
	信号認識		可	
	MRM		無(開発中) ※MRM:ミニマム・リスク・マヌーバー(自動運転中に安全な自動運転の継続 が困難になった場合、その危険を回避する動作のこと)	
	その他特徴等		・自己位置推定は高精度3次元地図を活用 ・世界各国において活用実績のある自動運転ソフトウェアAutowareを搭載 ・バス停/路側帯からの発車/駐車可能、交差点右左折可能	

■ 実証内容

- ・自動運転 : レベル2(運転手あり)
- ・試乗 : なし(今年度は技術検証を中心に実施とするため)
- ・会議 : 地域コミッティ、庁内検討会等により関係者との状況共有も引き続き実施
- ・補助金 : 地域公共交通DX・コパ+ネットワーク促進事業補助金(埼玉県)を活用予定
- ・検証項目 :
早朝・土日の交通量が比較的落ち着いた時間帯における自動走行の課題整理
路車協調の効果、将来的な経営判断に必要な課題整理(実現性・費用対効果・リスク等)

03 令和8年度事業実施スケジュール

		2026年									2027年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1.準備													
2.実証 実験準備	車両調律												
	運転手OJT												
3.実証 実験実施	一般運行												
4.とりま とめ	検証結果とりまとめ												
	次年度の方向性検討												
5.会議・ 報告	地域コミッティ会議	第1回 ● (Oct 2026) 第2回 ● (Mar 2027)											
	庁内検討会	第1回 ● (Oct 2026) 第2回 ● (Mar 2027)											
	地域公共交通協議会 バス部会	今回 ● (Jul 2026) ● (Mar 2027)											
	県への報告	● (Mar 2027)											